取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

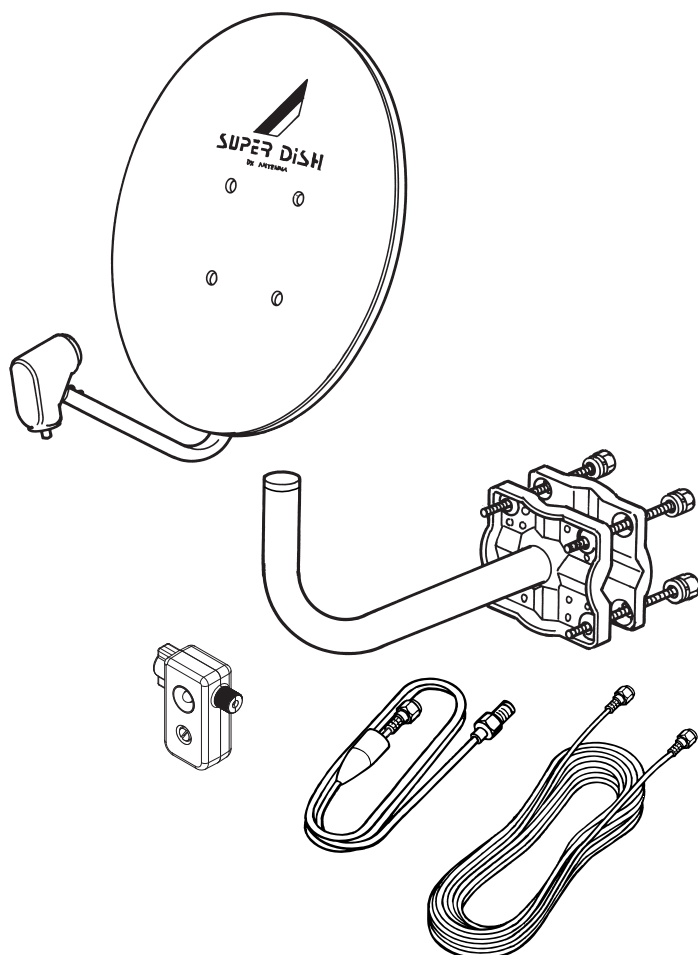
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DIGITAL

BSデジタルハイビジョン・110度CSデジタル放送対応

45形BS・110度CSアンテナセット

（取付金具・同軸ケーブル・レベルインジケータ付）

BC451K

製品の特長

- 衛星放送を受信するための全部品（45形BS・110度CSアンテナ、ベランダ・壁面取付金具、接栓付同軸ケーブル）とランプ（LED）で受信状態がわかり簡単に方向調整ができるレベルインジケータをそろえた便利なBS・110度CSデジタル放送受信セットです。従来のBS放送に加え、BSデジタル放送、BSデジタルハイビジョン放送、110度CSデジタル放送にも対応する広帯域設計です。
- NF0.45dB（標準）の極めて低雑音のデジタル対応コンバータを搭載し、ひときわ鮮明な画像を再現します。
- パラボラ反射鏡はアルミ材を使用し、耐候性にも優れリサイクルも可能です。
- マウント部、取付金具は溶融亜鉛メッキを採用し、海岸（塩害）地域でも安心して使えます。
- 取付金具は、ベランダ手すりの格子や笠木、また壁面・柱にも取り付けることができます。
- コンバータの出力端子に接続する接栓付同軸ケーブルは、防水キャップ付きで防水処理が簡単です。

BSデジタルハイビジョンアンテナとは

BSデジタルハイビジョン放送を良好に受信するためのアンテナです。

※BSデジタル放送および110度CSデジタル放送をご覧いただくためには、BSデジタル放送チューナ内蔵テレビやBSデジタル専用チューナが必要です。
通信衛星JCSAT-3号、JCSAT-4号から放送されているスカイパーフェクTV！のCSデジタル放送には対応していません。

保証書は取扱説明書の最後のページに記載しています。

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

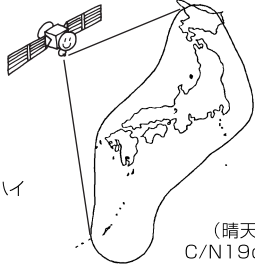
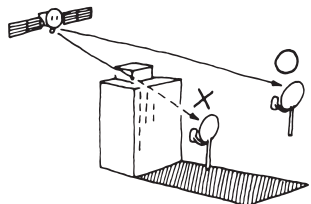
警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 次のような場所に設置しないでください。
  ・送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く　・人や車両の通行の妨げになる場所
  ・強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所　・煙突の付近や、高温になる場所
- 高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は、十分注意してください。また、アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。落ちたり、すべったり、けがの原因となります。
- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。
- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。
- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。
  落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、アンテナコンバータは表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
  火災や感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。
  感電の原因となります。
- 万一、このアンテナを落としたり、アンテナコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。

注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗装は安全性と耐候性に問題がないことを検証して製品化しています。）
- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。
- アンテナや取付装置などに乗ったり、洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- ベランダや壁面に取り付ける場合、それらの強度に注意し、落下しないよう安全性と安定性を十分に考慮してください。
- ベランダの耐久力については、材質などにより異なります。ベランダがアルミ製の場合、強度などによっては取り付けられないことがあります。また、鉄製その他の場合は、腐食していないことを確認してください。
- 取付金具は、ポールが垂直になるようにしっかりと取り付けてください。（ポールを垂直にすることでアンテナの方向調整が容易に行えます）
- この取付金具は、45㎝以下のアンテナ用です。45㎝を超えるアンテナには使用できません。
- 設置後、万一締め付けや取り付けに緩みを生じると危険ですから、点検を怠らないでください。
- 110度CSデジタル放送を受信する場合は、対応する伝送機器を用いて、地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナまたはチューナ内蔵テレビに接続してご使用ください。

BS・110度CSアンテナ設置のポイント

衛星放送をより良く受信していただくために、次の事項にご注意ください。

- 衛星から送られてくる電波の弱い地域では、受信不調や受信不能になる場合があります。必ずアンテナは地域に適したものをご使用ください。

- 受信方向にビルや鉄塔、樹木などの障害物がある場合は、電波の受信に大きく影響します。電波障害の起こらない所か、樹木では成長や繁茂することを考慮に入れて、陰にならない所を選んで設置してください。

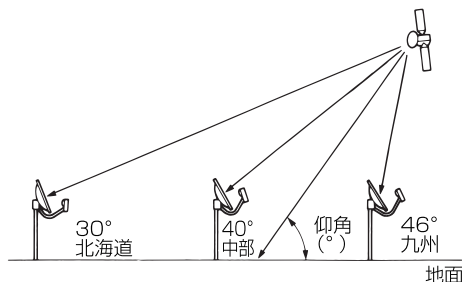
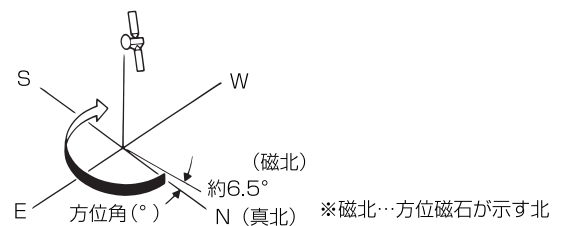
- 衛星からの電波は微弱です。そのため豪雨、厚い雲、雪によって、一時的に画面がチラついたり、音声が途切れたり、ひどい場合には全く受信できないことがあります。

- このアンテナを取り付けるポールは、とくに屋上など高い場所に設置する時には台風などの風に長期間耐えうるようにし、しっかりと固定してください。

- このアンテナを、煙突の近くなど高温になる場所には設置しないでください。
- このアンテナの表面の汚れは、水またはぬるま湯を含ませた柔らかい布で、軽く拭きとってください。シンナー、ベンジンをはじめ薬品や洗剤は、表面の仕上げを傷めますので、使用しないでください。

主な都市における仰角と方位角

仰角、方位角は地域により異なります。同じ地域でも場所により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

● 仰角・・・受信点から衛星を見上げた角度

● 方位角・・・真北から東回りに測った衛星の角度

各都市でのBSアンテナの仰角と方位角

都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)	都市名	仰角(°)	方位角(°)
稚内	29.1	220.9	前橋	37.9	223.1	名古屋	40.1	221.5	広島	43.4	216.2
旭川	30.1	222.5	土浦	37.4	224.7	豊橋	40.2	222.3	徳島	42.5	219.2
釧路	29.6	225.1	大宮	37.9	224.1	津	40.8	221.2	高松	42.6	218.4
札幌	31.2	221.7	浦和	38.0	224.2	福井	39.8	219.9	松山	43.7	217.0
函館	32.5	221.7	千葉	37.9	224.6	大津	40.9	220.2	高知	43.5	218.3
青森	33.3	222.3	東京	38.0	224.4	京都	41.0	220.0	山口	44.3	214.4
盛岡	34.0	223.4	甲府	38.7	223.0	奈良	41.4	220.2	北九州	44.7	214.4
秋田	34.6	222.2	厚木	38.4	224.2	大阪	41.5	220.0	福岡	45.2	213.9
仙台	35.3	224.0	横浜	38.3	224.5	堺	41.5	220.0	大分	44.9	215.9
山形	35.6	223.4	長野	38.2	221.9	神戸	41.6	219.6	熊本	45.8	214.9
福島	35.9	223.9	静岡	39.4	223.3	姫路	41.8	218.8	佐賀	45.6	214.0
新潟	36.6	222.1	浜松	40.1	222.7	和歌山	42.0	219.9	長崎	46.3	213.8
郡山	36.3	224.0	富山	38.7	220.7	鳥取	41.4	217.7	宮崎	46.2	216.6
宇都宮	37.2	224.0	金沢	39.2	220.1	松江	41.9	216.1	鹿児島	47.0	215.6
水戸	37.0	224.8	岐阜	40.1	221.1	岡山	42.3	217.9	那覇	53.6	215.9

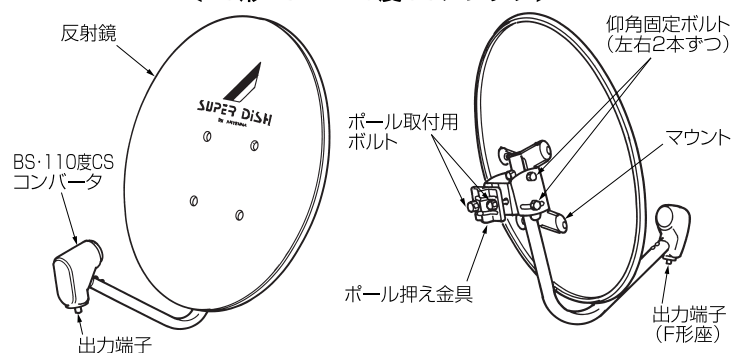
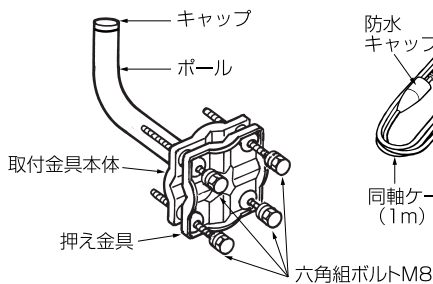
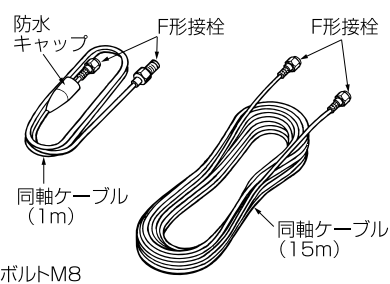
各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石を用いて方位角を求めるときは、表示角度に約6.5度を加えてください。
ポールの中間取付時の仰角調整範囲は23～56度です。

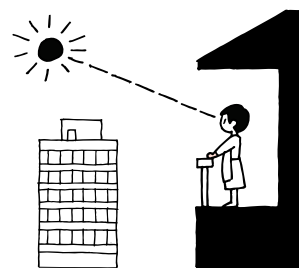
各部の名称

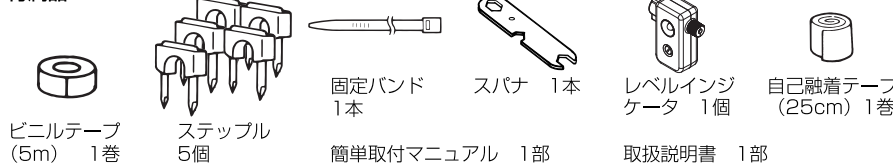
〔45形BS・110度CSアンテナ〕

反射鏡
BS·110度CS
コンバータ
出力端子
ポール取付用
ボルト
ポール押え金具
仰角固定ボルト
（左右2本ずつ）
マウント
出力端子
（F形座）

〔ベランダ・壁面取付金具〕　〔接栓付同軸ケーブル〕

※スパナ落下防止のために、太さ2mmぐらいのひも約80cm〜1mを1本ご準備ください。

設置場所の確認と使用工具

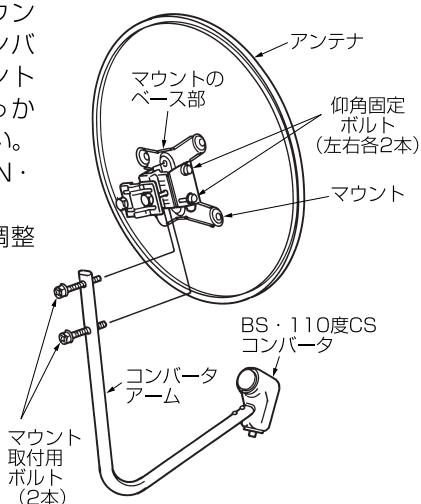
● アンテナを向ける方向に電波をさえぎるものがないか、確認しましょう。（目安は南西、午後2〜3時の太陽のある方向です。）

● 使用する工具　十字ドライバまたはスパナ（付属品）

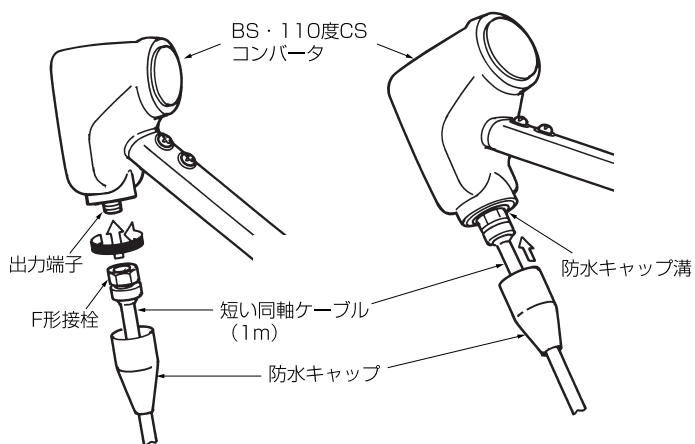
締付トルク　4〜5N·m（約40〜50kgf·㎝）
締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10㎝のところで40N（約4kgf）の力を加えたとき40N（約4kgf）×0.1m=4N·m（約40kgf·㎝）となります。 10㎝ ネジ 40N（約4kgf）

アンテナの組み立てと同軸ケーブルの接続

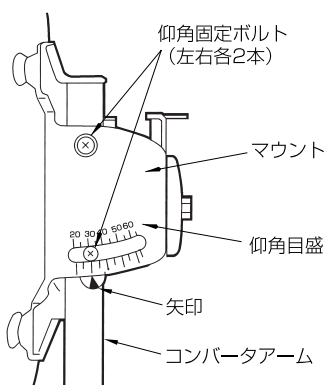
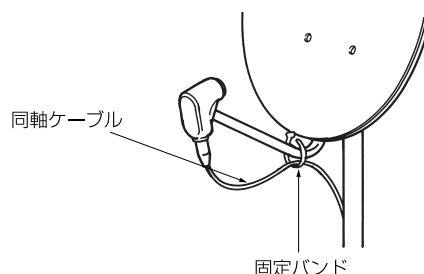
①アンテナ背面のマウントのベース部にコンバータアームをマウント取付用ボルトでしっかりと取付けてください。（締付トルク　4〜5N·m）

②次にアンテナ方向調整用にレベルインジケータ（以下インジケータ）で方向調整をするため、短い同軸ケーブルを接続しておきます。

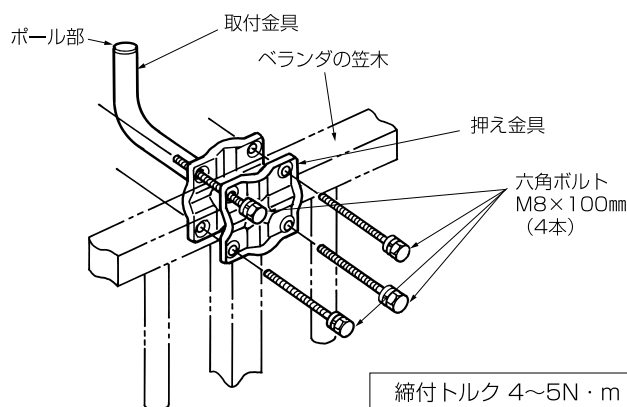
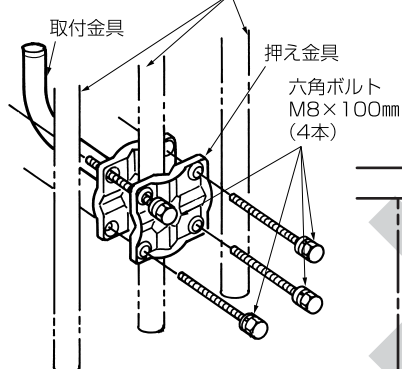
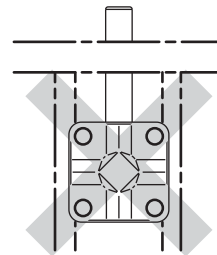
仰角の設定

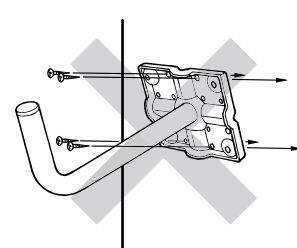
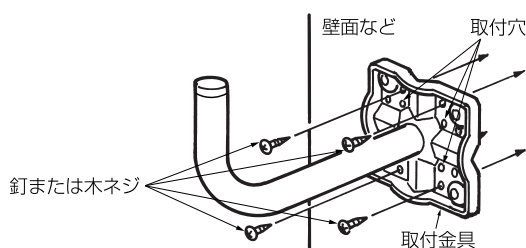
仰角固定ボルト（左右各2本）を緩めて「各都市での仰角と方位角」（取扱説明書2頁一覧表）からご使用場所に最も近い都市の仰角を確認し、セットします。（この時、方位角の調整が終了するまで仮止めとしておきます。）

短い同軸ケーブル（1m）の接続

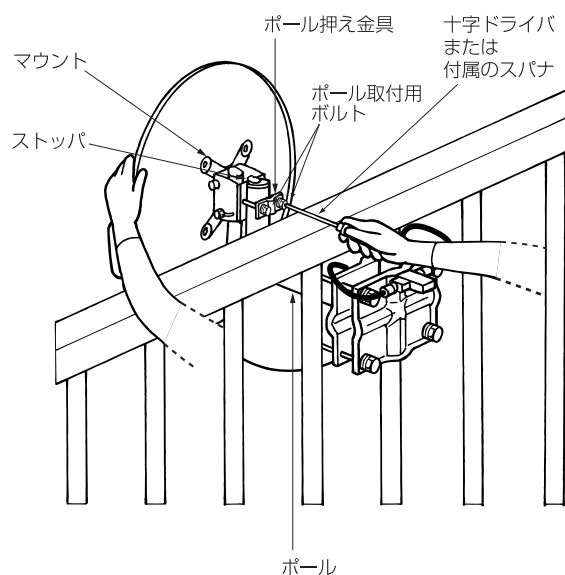
①アンテナの組み立ての時にアンテナ付属の防水キャップの付いている短い同軸ケーブルを接続します。

②防水キャップを溝の奥まで差し込みます。

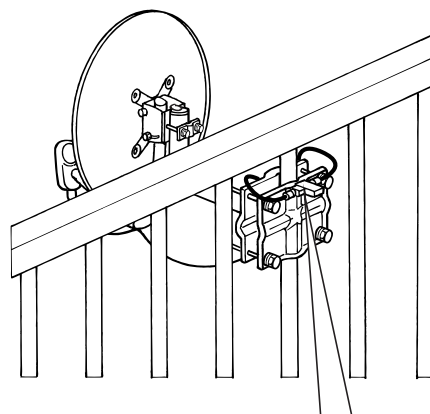
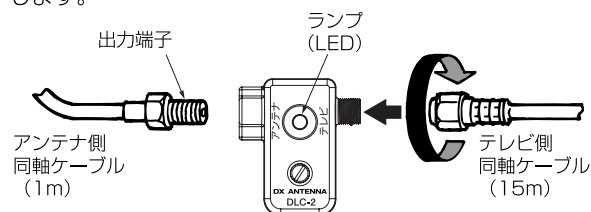
締付トルク　1〜2N・m

③防水キャップが曲がらないようにゆとりを持たせて、同軸ケーブルをコンバータアームに付属の固定バンドで止めます。

取付金具のベランダへの取付

● 図のように、ポール部の先端が垂直となるように、ベランダの笠木や格子を取付金具と押え金具で挟み込んで、六角ボルトでしっかりと締め付けてください。

〈注意〉
取付金具のポールが地面に対して垂直になるように取り付けてください。

壁面への取付方法

図のように、木柱や板壁面に釘や木ネジでポール部の先端が垂直になるように強固に取り付けてください。

アンテナのポールへの取付け

①アンテナ背面のマウントとポール押え金具の間にベランダ壁面取付金具のポールが入るまで、ポール取付用ボルトを緩めます。
②図のように、組み立てたアンテナを、マウントのストッパに当たるまでポールに差し込みます。
③ポール取付用ボルトを左右均等に締めて仮止めします。

同軸ケーブルの配線

● このアンテナには方向調整用のインジケータを付属しています。アンテナからの同軸ケーブルを室内に引き込む際に方向調整用インジケータを仮接続してください。

①コンバータからの短い同軸ケーブルがインジケータのアンテナ側にくるようにインジケータを取り付けます。
②インジケータのテレビ側に長い同軸ケーブルの先端を接続します。

③インジケータのランプ（以下LED）が見えるように、ベランダ壁面取付金具に引っ掛けるなどして仮固定します。
（インジケータはアンテナの方向調整が終了し、テレビ画面が映ることを確認した後に取りはずします。）

同軸ケーブルの屋内への配線とテレビ（チューナ）の接続

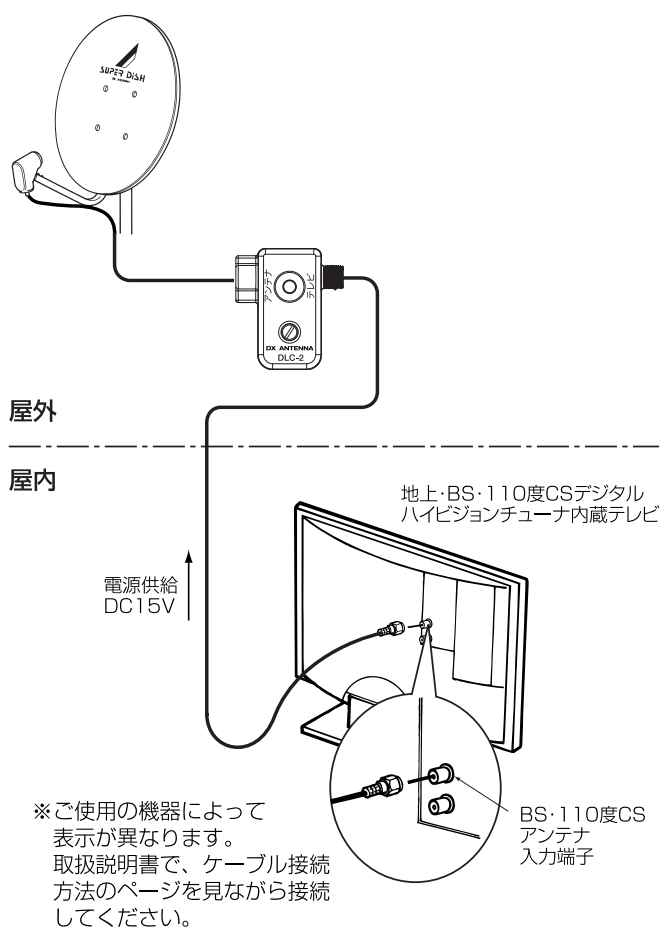
同軸ケーブルを接続する前に、必ずチューナやテレビ、接続しているAV機器の電源を切ってください。ブースタをご使用の場合は、一時的にブースタの電源も切ってください。（電源を入れたまま接続すると機器が故障する原因となる場合があります。すべてのケーブル接続が完了し、正しく接続されていることを確認してから電原を入れます。）また、接続するチューナやテレビの取扱説明書をご準備ください。

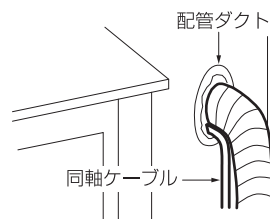
①インジケータに接続した長い同軸ケーブルのもう一方の先端を屋内に引き込みます。

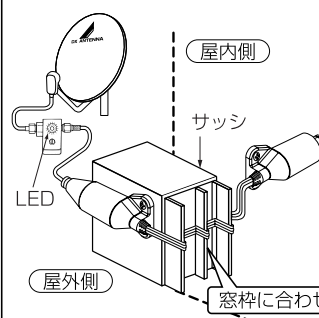
〈ご注意〉

- 屋内に引き込むときに同軸ケーブルを傷つけないでください。ケーブルの外皮が破れるような傷がつくと、腐食やショートなど受信不良の原因となり、画像が映らなくなります。
- 換気口やエアコン等の配管口などのすき間を使用したときは、防水処理にもご注意ください。壁面等に穴を開けることができない場合は、窓取付用のフラットケーブルのご使用をおすすめします。

②屋内に引き込んだ同軸ケーブルをチューナ（チューナ内蔵テレビなど）のBS・110度CSアンテナ入力端子※に接続します。

※ご使用の機器によって表示が異なります。取扱説明書で、ケーブル接続方法のページを見ながら接続してください。

③チューナに「B-CAS」カードが正しい方向に挿入されていること（デジタル放送受信の場合）とテレビ、AV機器が正しく接続されていることを確認してください。

エアコンの配管ダクト利用の場合

- エアコンの穴を利用する場合、配線が終わった後パテ等で配管用穴などをふさぐときれいに仕上がります。

フラットケーブル使用の場合（フラットケーブルは別売です）

フラットケーブル(別売)
サッシのすきまからアンテナケーブルを屋内に引き込むケーブルです。

④チューナやテレビ、AV機器の電源を入れます。ブースタの電源を一時的に「切」した場合は、ブースタの電源も入れます。

⑤テレビのチャンネルを受信電波に合わせて設定します。
BSアナログ放送：BS-7またはBS-11チャンネル
BSデジタル放送：101チャンネル（NHK-BS-1）

⑥チューナ（チューナ内蔵テレビなど）からアンテナに電源を送ります。
お手持ちのチューナ（チューナ内蔵テレビなど）の取扱説明書を見て、メニュー画面／設定一覧等からBSアンテナ電源「ON」「入」など、アンテナに電源を送る設定にしてください。（ブースタから電源を送る場合は、チューナ側は「OFF」「切」にします。）
アンテナに電源が届かないと衛星放送を受信できません。

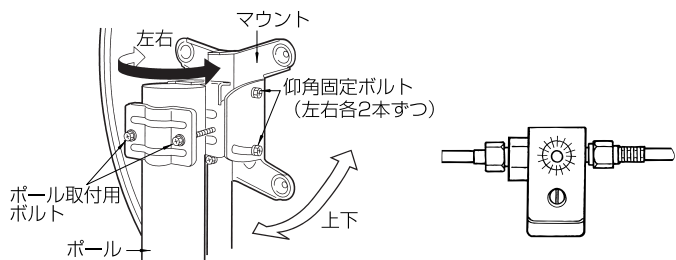
⑦チューナの取扱説明書を見て、メニュー画面／設定一覧等からアンテナレベルをテレビ画面に表示してください。

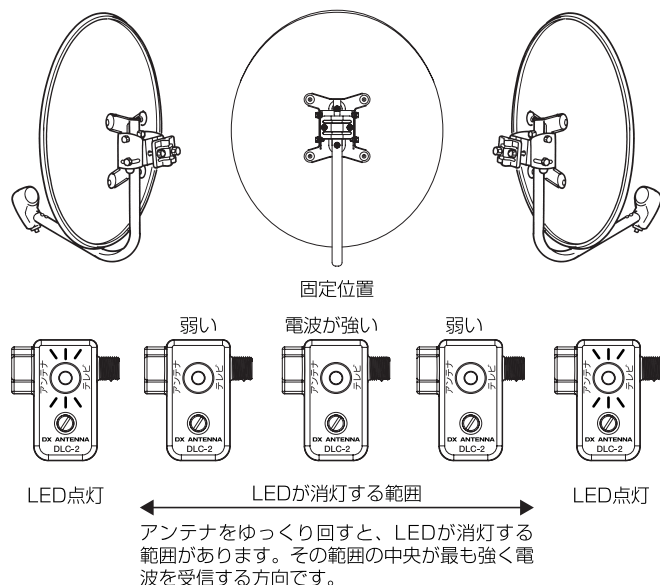
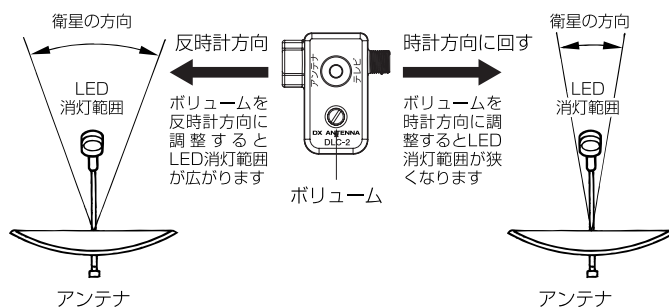
＜ご注意＞
アンテナ設置時は、ショート防止のためケーブルの接続など、すべての設置作業が完了する迄、デジタルチューナ（デジタルチューナ内蔵テレビ）やブースタの電源プラグをはずしておいてください。
電源供給時に電源をショート（ケーブルの心線と外側の導体を接触するなど）させると、アンテナのコンバータを動作させる直流電源を供給しているデジタルチューナ（デジタルチューナ内蔵テレビ）などの保護回路が動作して電源供給が止まり、受信できなくなることがあります。
なお、ショート原因を除去後の復旧方法は、機器によって異なりますので、その取扱説明書をご確認ください。

アンテナの方向調整

方向調整は実際に衛星からの電波を受信して行ないます。
チューナまたはチューナ内蔵テレビなどからコンバータへDC15V電源を供給してください。

①コンバータ側へDC15V電源が供給されると、インジケータのLEDが点灯します。（アンテナが衛星放送の電波を受信するとLEDが消灯しますので、まずはLEDが点灯することを確認してください。）

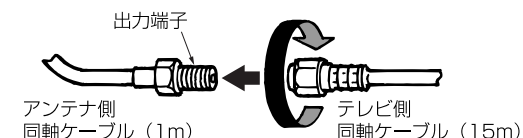
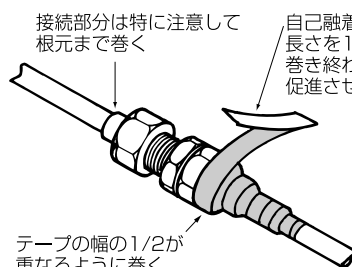
②ポール取付用ボルトを緩めて、2ページで求めた最寄の都市の方位角にアンテナを向けます。
（目安は南西方向、午後2〜3時の太陽の方向です。）

③1秒間に2、3cm程度のゆっくりとした動きでアンテナを左に回します。インジケータのLEDが消えないときは、同じようにゆっくりと右にアンテナを動かします。
このときアンテナを西側向けてから少しずつ南側に動かすと電波を受信する範囲が見つけやすくなります。
④衛星からの電波を受信すると、インジケータのLEDが消灯する範囲があります。
LEDが消灯する範囲（仰角、方位角）の中央が最も強く電波を受信する方向です。
⑤②〜③でLEDが消灯しないときは、仰角固定ボルトを緩めて、アンテナを1〜2度上向きまたは下向きに動かして再度③の操作を繰り返してください。
⑥LEDが消灯する範囲が見つかると③よりもさらにゆっくりとアンテナを左右に動かし、LED消灯範囲の中央になるところで、ポール取付用ボルトを仮止めします。
⑦仰角固定ボルトを緩めて、アンテナを上下に動かして、LED消灯範囲の中央になるところで仰角固定ボルトを仮止めします。
※インジケータのボリュームを回してLED消灯範囲を狭くして⑥⑦を繰り返すとより正確な方向調整ができます。

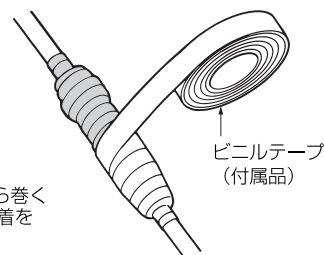
〈アンテナ方向とLEDの消灯範囲〉

〈インジケータのボリュームの設定〉

⑧テレビ画面を見て、実際に衛星放送を受信していることを確認してください。
⑨最良の受信状態になった位置で、仮止めしていたポール取付用ボルトと仰角固定ボルトを、方向がずれないように（アンテナレベルが下がらないように）左右交互に締めて、しっかりと固定します。

締付トルク　4〜5N・m

⑩テレビ（チューナ）のコンバータへ電源を送る設定を一時的にOFF（切）にします。
⑪同軸ケーブルからレベルインジケータをはずして、アンテナ側とテレビ側の同軸ケーブルを接続します。

接栓の防水処理

方向調整が完了したあとは、インジケータをはずした2本の同軸ケーブル（アンテナ側とテレビ側）を接続し、必ず図のように自己融着テープとビニルテープで確実に防水処理をしてください。その後、再びテレビ（チューナ）のコンバータへの電源を供給してください。

①自己融着テープを、白色のセパレータを剥しながら、長さが1.5倍程度になるように引っ張って巻きつけます。
テープは、幅の2分の1が重なるように巻き、巻き終わったら指で押さえてよく密着させます。

②自己融着テープを巻いた上に、さらにビニルテープを巻きます。

ビニルテープ
（付属品）

※取りはずしたインジケータと別紙の簡単取付マニュアル、取扱説明書は大切に保管しておきます。台風や積雪の後などに行うアンテナや取付金具の点検時に使用することができます。

規格特性

品名	45形BS・110度CSアンテナセット
品番	BC451K
アンテナ有効径(cm)	45
受信周波数(GHz)	11.71～12.75
コンバータ出力周波数(MHz)	1032～2072
受信偏波	右旋円偏波
利得(dB)	アンテナ部BS：33.8 コンバータ部BS：48～60 注1) CS：34.1 CS：48～60
コンバータ雑音指数(dB)	0.45 注1)
コンバータ電源	DC 13.2～16.5V(ケーブル重畳) 注2)
コンバータ消費電力(W)	1.5以下(DC15V入力時)
G/T (dB/K)	BS：14.7 CS：15.0 注1)
コンバータ局発位相雑音 (dBc/Hz)	−65(1 kHzオフセット) −85(5 kHzオフセット) −95(10kHzオフセット) 注1)

コンバータ出力インピーダンス(Ω)	75(F形)
耐風速(m/s)	受信可能風速20、復元可能風速40、破壊風速60 注3)
仰角調整範囲(°)	23～68
質量(kg)	1.6(3.5) 注4)
セット構成部品	45形反射鏡(マウント付)………1台 BSコンバータ(アーム付)………1組 ベランダ・壁面取付金具……………………1台 接栓付同軸ケーブル(1m) 防水キャップ付…1巻 接栓付同軸ケーブル(15m)………………1巻
付属品	レベルインジケータ………………1個 固定バンド ……………………………1本 自己融着テープ(25cm)…………1巻 ビニルテープ(5m)…………………1巻 ステップル …………………………5個 スパナ ………………………………1本 簡単取付マニュアル ………………1部 取扱説明書 …………………………1部

注1) 利得(アンテナ部)、コンバータ雑音指数、G/T、コンバータ局発位相雑音は標準値です。
注2) コンバータ電源の規格は、コンバータ出力端子に必要な電源電圧です。
注3) 受信可能風速：アンテナに風圧を加えている間、電気的性能の劣化が許容範囲内であるときの最大風速。
　　復元可能風速：アンテナに風圧が加わった後、アンテナの方向を再調整することによって、電気的性能を満足する最大風速。
　　破壊風速：アンテナに風圧を加えている間、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速。
注4) アンテナ単体の質量です。( )内はベランダ取付金具と接栓付同軸ケーブルを含んだ質量です。
規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会に審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

保証とアフターサービスについて

この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間中の故障は下記の無料修理規定により、当社にて責任をもって修理いたします。ただし、ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷などの場合は保証期間内でも有料修理となります。

保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

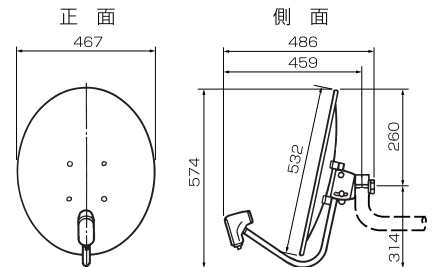
なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または当社のもよりの支店・営業所にお問い合せください。

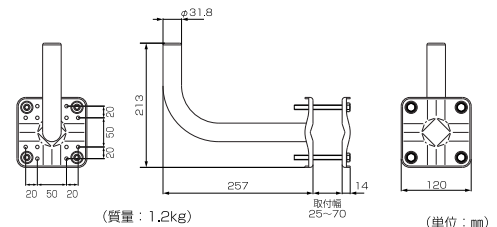
この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

無料修理規定

1. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店を通じて無料修理いたします。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
   ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   ②お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
   ④故障の原因が本製品以外の部分(例えばテレビ受像機等)、またはその他の機器によって生じた修理、および改良。
   ⑤一般家庭用以外(例えば車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
   ⑥本保証書が添付されていない場合。
   ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本保証書は日本国内にのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
4. 期間中の転居、その他の理由により本保証書に記入してある販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りのDX製品取扱店、またはDXアンテナ各支店、営業所へご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. この保証書によって保証書を発行しているもの(保障責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

外形寸法図

〔45形BS・110度CSアンテナ〕

寸法はアンテナ仰角が40°
ポール径φ31.8mmの場合の最外形寸法です。

〔ベランダ・壁面取付金具〕

保 証 書

品番	※お買上年月日	保証期間
BC451K	年 月 日	お買上げ日より 1年間

※ご販売店
ご住所・ご店名
電話 ( ) −

※お客様
お名前 ふりがな 様
ご住所 □□□-□□□□ 電話 ( ) −

※印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし記入が無い場合には、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹	・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹	・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹	・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹	・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹	・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹	・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281㈹	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹	・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹	・柏出張所 TEL.(04)7192-1681㈹	・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹	・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹	・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹	・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹	・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920㈹	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・厚木出張所 TEL.(046)225-6102㈹	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹	・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311㈹	・豊橋営業所 TEL.(0532)69-2370㈹	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹			

(2008年7月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く)
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4400-2
ZP-EZ-SZ3Ⓡ